

# まちと生きる

## —上尾市における芝川河川空間を活用した親水公園の提案—

BR14101 渡部夏紀

指導教員 鈴木俊治

### 1. はじめに

#### 1-1. 背景

河川は元々人々の生活に欠かせないものであったが、時代の変化により使われることが少なくなり、水辺への市民の関心が薄らいだ。しかし近年、水辺を再生させるための活動が各地で見られるようになった。

#### 1-2. 目的

現在上尾市にある河川は、大雨の際に氾濫してしまうことが多く、河川が「危険」というイメージがある。正しく安全に利用すれば河川は「楽しい」空間であるということ、多くの人に認識してもらいたい。そのために、芝川河川空間を活用した親水公園の設計を行う。水辺の空間が上尾市民の日常生活の一部となり、親しまれ続ける空間を提案する。

### 2. 対象地について

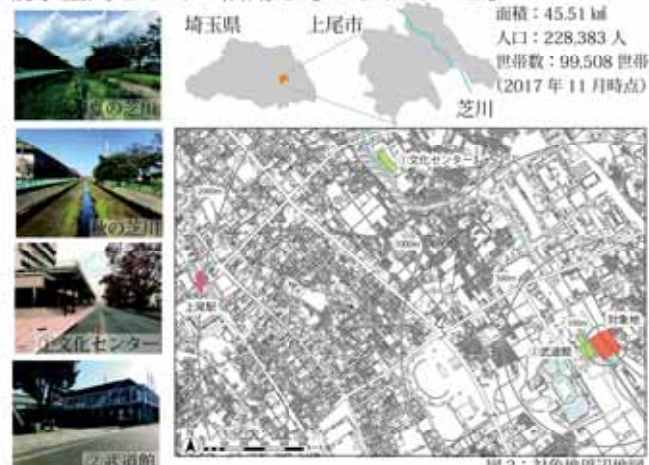
#### 2-1. 芝川全体について

芝川は主に埼玉東部を流れる一級河川である。桶川市、上尾市、さいたま市、川口市、足立区を流れ、荒川にそそぐ。さいたま市東部の沼地である見沼を経て、荒川にそそいでいた川が原型となっている。江戸時代の初めから改修が行われ、見沼田圃の排水路や通船路としても用いられていた。



#### 2-2. 上尾市における芝川について

現在上尾市では都市下水路として整備されている。そのため治水対策が中心になっているが、将来的には親水空間としての活用も考えられている。



### 2-3. 対象地の概要



### 3. 問題提起

#### ◇課題

- ・市民が芝川に魅力を感じていない。
- ・氾濫の恐れのため危険という認識や評判がある。
- ・高齢化により畑の管理が困難になっている。

#### ◇ポテンシャル

- ・周辺施設が充実している(公共施設等)。
- ・市内の各地区で近所付き合いや町内活動が多い。
- ・空き地や畑など活用できる十分な敷地がある。

周辺地域活動があるにも関わらず、芝川との間に隔りがある

畑や空き地を活用し新しい親水空間をつくることで、芝川を「楽しい水辺」として再生させる

### 4. 提案

#### ◇タイトル

「あげおしぼっ子公園」

公園だけではなく、芝川にも愛着を持ってもらうため、あげおしぼっ子公園と命名。

#### ◇コンセプト

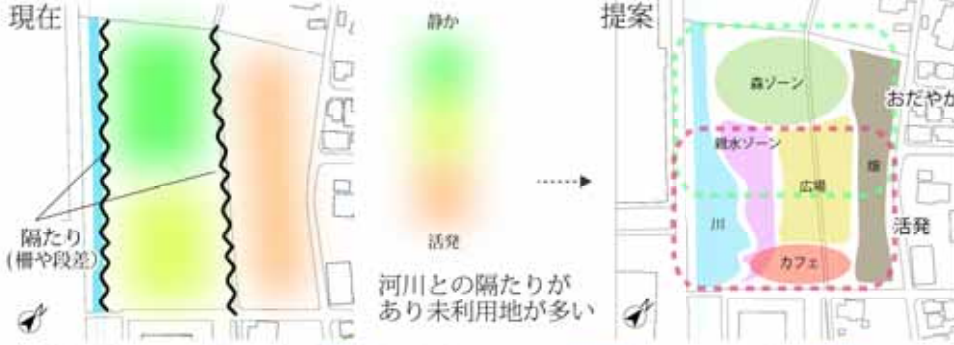
子どもから大人まで利用でき、多くの人に長く愛される公園を提案する。そのためにまず、芝川や畑などの地域資源を最大限に活用する。次に、計画・整備段階から市民中心で行うこと、毎月イベントを開催することなど、地域活動が生まれる様々な市民参加プログラムを用意する。このようなまち独自の特徴を活かし、自分たちでつくり育てていくことができる公園にすることで、市民が公園に愛着を持ち続けることができる。





## 5. 設計提案

### ◇ゾーニング図



川の上流から下流に向かって人々の活動が活発になるようにゾーニングを行った。川は下流に向けて幅を広げ、水辺での活動が生まれるようにした。その活動を広げるため親水ゾーンを設けた。穏やかに過ごせる森ゾーンから、広場を経て、外部との関わりが生まれるようカフェを設置した。畑は下流側に体験コーナーを設け、人とのつながりが生まれるようにした。

### ◇鳥瞰パース



公園パートナーが所有する畑、貸出用の畑、体験用の畑に分かれている。作業の合間に会話が生まれるようベンチを設置した。



室内の席の他にテラス席、川床席を用意した。水辺や広場の風景やそこで活動する人々を見ながら憩うことができる。店内ではイベントや会議なども行うことができる。



駆け上がって遊ぶことや、斜面に座って川や広場を眺めながら憩うことができる。大きな木陰ができるような樹木が多い。



水辺の動物だけでなく野鳥の観察もできるビオトープ。市民活動の1つとして作成するため、つくる段階から楽しむことができる。



桜の木の下で、川を眺め、季節を感じながらゆっくりと休むことができる。イベントで毎年市民で植える花壇も一緒に楽しむことができる。

### ◇AA' 断面図



### 5-1. 植栽計画

上尾市で指定されている市の木「かし」をシンボルツリー、市の花「つつじ」を生垣、市民の木「あおき」を畑周辺などに使用し、上尾独自の公園を表現した。その他、カフェ周りにソヨゴ、丘にコナラなど、それぞれ空間の特徴に合った樹木を選定した。



### 5-2. 住民参加計画

#### 整備計画 (イメージ)

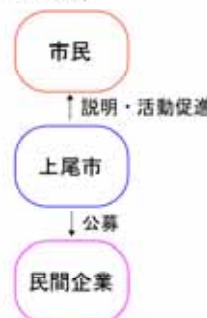
1年目	説明会 ワークショップ① 芝川を知ろう 市民団体メンバー募集 市民団体メンバー決定
2年目	ワークショップ② どんな公園がいいだろう ワークショップ③ つくってみよう 計画図発表・検討 計画決定
3年目	造成開始 除草作業 樹木植込付け ビオトープづくり ガーデニングづくり
4年目	完成予定

#### イベントカレンダー

4月	春の生き物観察会	春
5月	スポーツ大会	
6月	梅雨の防災学習の会	
7月	川開き・花抜き取り	夏
8月	夏祭り	
9月	金魚すくい大会	
10月	種まき・芋掘り	秋
11月	紅葉祭り	
12月	乾期の防災学習の会	
1月	冬野菜収穫会	
2月	冬の生き物観察会	冬
3月	春祭り	

### 5-3. 計画・整備・運営方法

#### 立ち上げ期



#### 計画・整備・運営期



行政が市役所内部、地権者との整備に向けた合意形成を行ったのち、関係企業や一般市民への説明会を行う。整備方式はPark-PFIを想定する。PFI事業者と共に市民も計画・整備・運営を行うような体制をとる。その際の市民の代表となる公園パートナーとして、新たに市民団体を結成する。

### 6. まとめ

この提案により、上尾市民にとって芝川が楽しい水辺となると共に、より地域活動の盛んなまちとなる。